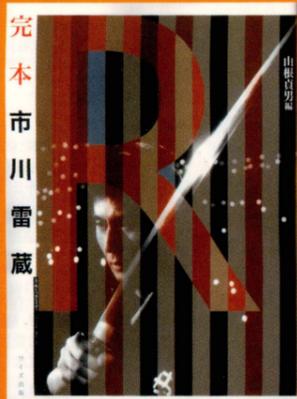


■上映スケジュール

4/28 29 (土) 日	ぼんち 炎上	9:45/13:50/17:55 11:55/16:00/20:05(終映21:45)
4/30 5/1 日 火	切られ与三郎 弁天小僧	11:25/15:05/18:45 9:45/13:25/17:05/20:45(終映22:10)
5/2 3 水 木	剣鬼 斬る	9:45/12:50/16:05/19:15 11:25/14:40/17:50/21:00(終映22:10)
4 金	破戒 剣	9:45/14:00/18:15 12:10/16:25/20:40(終映22:15)
5 土	破戒 剣	9:30/13:30 11:40/15:40(終映17:15)
6 日	大菩薩峠 大菩薩峠 竜神の巻	10:15/14:10/18:05 12:25/16:20/20:15(終映21:45)
7 月	薄桜記 大菩薩峠 完結篇	10:10/14:20/18:30 12:25/16:35/20:45(終映22:25)
8 火	江戸へ百七十里 影を斬る	11:40/15:05/18:25 10:05/13:30/16:50/20:10(終映21:30)
9 水	忍びの者 続忍びの者	10:40/14:35/18:30 12:50/16:45/20:40(終映22:15)
10 木	おけさ唄えば 女と三悪人	11:40/15:20/19:00 9:45/13:25/17:05/20:45(終映22:25)
11 金	大殺陣 雄呂血 赤い手裏剣	11:50/15:20/18:50 10:10/13:40/17:10/20:40(終映22:05)
12 土	婦系図 歌行燈	9:45/13:50/18:05 11:40/15:55/20:05(終映22:00)
13 日	ある殺し屋 ある殺し屋の鍵	9:45/12:55/16:05/19:15 11:20/14:30/17:40/20:50(終映22:10)
14 月	陽気な殿様 桃太郎侍	11:40/15:15/18:50 10:00/13:35/17:10/20:45(終映22:10)
15 火	眠狂四郎勝負 眠狂四郎月斬り	9:45/13:00/16:15/19:25 11:20/14:35/17:50/21:00(終映22:25)
16 水	中山七里 ひとり狼	11:50/15:20/18:50 10:10/13:40/17:10/20:40(終映22:05)
17 木	濡れ髪剣法 濡れ髪三度笠	11:35/15:20/19:00 9:45/13:30/17:10/20:50(終映22:30)
18 金	眠狂四郎炎情剣 眠狂四郎無頼剣	9:45/12:55/16:10/19:20 11:25/14:40/17:50/21:00(終映22:20)

絶 賛 発 売 中

市川雷蔵の本



完本市川雷蔵  
山根貞男・編  
A4版・上製 4700円(本体) ワイズ出版・刊  
不世出の映画スター・市川雷蔵の魅力  
を多彩な視点からとらえた決定版!!



市川雷蔵出演映画作品ポスター集  
栗田宗良・編  
B5版・上製 4700円(本体) ワイズ出版・刊  
市川雷蔵の出演した映画作品ポスター  
を網羅した雷蔵本のもうひとつの決定版!!

新文芸坐初見参  
市川雷蔵変幻自在



34作品連続上映  
4/28(土)~5/18(金)

感動はスクリーンから

MARUHAN 新文芸坐  
池袋東口徒歩3分 TEL:03-3971-9422  
http://www.shin-bungeiza.com

《新文芸坐友の会 会員募集のお知らせ》

新文芸坐では、友の会会員を随時募集しております。お申し込みは受付にて承ります。  
特典① 入会時にご招待券を1枚プレゼント(特別興行・オールナイトにはご利用できません)。  
特典② ご入場料金が割引になります。  
特典③ 有料入場ごとに会員証に1ポイント加算され、10ポイントでご招待券を1枚プレゼント。  
特典④ 毎月「ファミリー券(ご本人以外に3名様まで友の会割引)」を郵送いたします。  
特典⑤ 毎月スケジュール表を郵送いたします。  
◆入会金2000円(1年間有効) ◆会員証の譲渡及び貸与はできません。  
◆更新料1000円(要 会員証。ポイントは繰り越され、さらに1ポイント加算。)

特別料金

一般	1500円
学生	1400円
友の会	1000円
シニア(60歳以上)	1000円
身障者・小学生	1000円
ラスト1本	1000円
前売1回券(4/27(金)まで販売)	1300円
3回券(5/6(日)まで販売)	3600円
5回券(5/6(日)まで販売)	5500円

感動はスクリーンから  
MARUHAN 新文芸坐  
池袋東口徒歩3分 TEL:03-3971-9422  
http://www.shin-bungeiza.com



- 上映開始30分後の客席へのご入場はご遠慮いただいております。
- 上映中は携帯電話・PHS等のスイッチは、お切りください。
- 古い作品は映像や音声の状態が悪い場合がございます。ご了承のうえご覧ください。

4/28  
(土)  
29  
(日)

### ぼんち (1960)

●監督・脚本:市川崑  
●原作:山崎豊子 ●脚本:和田夏十  
●共演:若尾文子、中村玉緒、草笛光子、越路吹雪、山田五十鈴、船越英二、林成年



足袋問屋の若旦那(雷蔵)が、呆れるほどの女道楽を重ねながら、第二次大戦の激動期をたくましい商魂で乗り切る。豪華女優陣との共演が見物。

30  
(月)  
5/1  
(火)

### 切られ与三郎 (1960)

●監督・脚本:伊藤大輔  
●原作:淡路恵子、富士真奈美、中村玉緒、浦辺条子、香川良介、潮万太郎、小沢栄太郎



雷蔵が歌舞伎の世界を華麗かつ情緒豊かに演じる2本立て。お富と与三郎(雷蔵)の数奇な愛憎流転の姿を詩情豊かに描き出す。灼爛の映像美に注目。

2  
(水)  
3  
(木)

### 剣鬼 (1965)

●監督:三隅研次  
●原作:柴田錬三郎 ●脚本:星川清司  
●共演:姿美千子、佐藤美、五味竜太郎、陸五郎、工藤堅太郎、内田朝雄



大ッ子と蔑まれて育った人斬り(雷蔵)。彼は馬より早い健脚の持ち主で、花つくりの名人でもあった。そんな斑々の数奇な運命を描く異色作。

4  
(金)  
5  
(土)

### 破戒 (1962)

●監督:市川崑 ●原作:島崎藤村  
●脚本:和田夏十 ●共演:長門裕之、三國連太郎、藤村志保、船越英二、二世・中村鴈治郎、岸田今日子、宮口精二



部落差別を描いた島崎藤村の名作の映画化。部落出身ゆえ苦悩する丑松役を雷蔵が熱演。藤村志保は雷蔵の推薦で、丑松の恋人役でデビューする。

6  
(日)

### 大菩薩峠 (1960)

●監督:三隅研次  
●脚本:中里介山 ●脚本:衣笠貞之助  
●共演:本郷功次郎、中村玉緒、山本富士子、菅原謙二、根上淳、島田竜三、笠智衆



雷蔵が妖剣・音無しの構えの刺客を演じる時代劇。本作以前に大河内や千恵蔵が演じたが、雷蔵は机龍之助を残酷なまでに虚無的な主人公に作り上げた。

7  
(月)

### 薄桜記 (1959)

●監督:森一生  
●原作:五味康祐 ●脚本:伊藤大輔  
●共演:勝新太郎、真城千都世、三田登喜子、大和七海路、北原義郎、島田竜三、千葉敏郎



赤穂浪士討ち入りを背景にした、旗本丹下典膳(雷蔵)とその妻の悲しい愛の物語。孤高の剣士・丹下が放つ壮絶な美が華麗な映像で見事に描かれる。

8  
(火)

### 江戸へ百七十里 (1962)

●監督:森一生 ●原作:山手樹一郎  
●脚本:笠原良三 ●共演:嵯峨三智子、二世・中村鴈治郎、真城千都世、島田竜三、柳永二郎、五月みどり、千葉敏郎



雷蔵が久しぶりに水も滴る美男若様を演じる明朗チャンバラ映画。双子の兄弟(雷蔵・二役)の身代わり劇やお家騒動の中、雷蔵の明るさが映える娯楽作。

9  
(水)

### 忍びの者 (1962)

●監督:山本薩夫  
●原作:村山知義 ●脚本:高岩肇  
●共演:藤村志保、伊藤雄之助、岸田今日子、真城千都世、藤原礼子、小林勝彦



旧来の荒唐無稽なイメージを根拠から変えリアルな忍者=石川五右衛門を演じた、雷蔵の代表作のひとつ。雷蔵もさることながら伊藤雄之助の猛演が凄い。

10  
(木)

### おけさ唄えば (1961)

●監督:森一生  
●脚本:笠原良三  
●共演:橋幸夫、水谷良重、三木裕子、小椋純子、島田竜三、二世・中村鴈治郎



雷蔵が軽妙な味を見せる明朗歌謡もの。人助けばかりしてしまうめげなやくざ男を雷蔵が演じ、これに男装の水谷良重とテンピラの橋幸夫が軽妙に絡む。

### 炎上 (1958)

●監督:市川崑 ●原作:三島由紀夫  
●脚本:和田夏十、長谷部慶治 ●共演:仲代達矢、二世・中村鴈治郎、浦路洋子、中村玉緒、新珠三千代、舟木洋一、信欣三



騒動寺を憧憬する青年(雷蔵)が孤独と失望の果てに……。雷蔵が初めて現代劇に挑んだ作品。坊主頭で吃音の青年役を名演し、絶賛を浴びた。

### 弁天小僧 (1958)

●監督:伊藤大輔  
●脚本:八尋不二 ●共演:勝新太郎、青山京子、阿井美千子、近藤美恵子、島田竜三、黒川弥太郎、河津清三郎



弁天小僧は大名から金を奪い、娘を救う……。時代劇の醍醐味溢れる名作。小姓姿から女装まで夢幻自在な弁天小僧を雷蔵が魅力たっぷりに演じる。

### 斬る (1962)

●監督:三隅研次  
●原作:柴田錬三郎 ●脚本:新藤兼人  
●共演:藤村志保、渚まゆみ、万里昌代、柳永二郎、成田純一郎、天知茂、浅野進治郎



剣3部作の第1話(2話『剣』3話『剣鬼』、ストーリー上の関連はない)。出生の秘密を抱えた剣豪(雷蔵)の過酷な運命を、壮絶な映像美が『斬る』!

### 剣 (1964)

●監督:三隅研次  
●原作:三島由紀夫 ●脚本:舟橋和郎  
●共演:藤村志保、川津祐介、長谷川明男、河野秋武、紺野ユカ、小椋純子、角梨枝子



大学の剣道部が舞台の現代劇。雷蔵は純粋に剣の道に打ち込む部長役を好演。部員たちが規律違反を犯した時、清廉で厳格な彼のとった行動は?!

### 大菩薩峠 竜神の巻 (1960)

●監督:三隅研次 ●原作:中里介山  
●脚本:衣笠貞之助 ●共演:本郷功次郎、中村玉緒、山本富士子、近藤美恵子、三田登喜子、藤原礼子、片山明彦



発端編の第1部をうけ、因縁と愛憎の渦が展開する第2部。爆発で盲目になった龍之助のさらなる虚無へと落ちてゆく心演じて、雷蔵が凄絶に輝く一編。

### 大菩薩峠 完結篇 (1961)

●監督:森一生 ●原作:中里介山  
●脚本:衣笠貞之助 ●共演:本郷功次郎、中村玉緒、小川勝彦、三田村元、島田竜三、近藤美恵子、丹羽又三郎



盲目になって狂気を深めた龍之助(雷蔵)が、血に飢えたかのごとく妖剣をふるい、辻斬りにまで堕ちてゆく。監督は前作までの三隅研次から森一生に。

### 影を斬る (1963)

●監督:池田一夫  
●脚本:小国英雄 ●共演:嵯峨三智子、坪内ミキ子、成田純一郎、松本錦四郎、小林勝彦、真城千都世、稲葉義男



ハードボイルドな題名とは逆な、軟派明朗時代劇。雷蔵が演じる伊達藩上級藩士は昼寝・夜遊びと放蕩三昧なのだが、終盤に一転、しっかり決めて見せる。

### 続忍びの者 (1963)

●監督:山本薩夫  
●原作:村山知義 ●脚本:高岩肇  
●共演:藤村志保、坪内ミキ子、伊達三郎、城健三郎、山村聰、永井智雄、東野英治郎



前作のヒットを受けシリーズ化。本能寺の変も陰で忍者が仕組んだという設定の時代劇。本作から東野英治郎の秀吉が強烈なキャラクターとして登場する。

### 女と三悪人 (1962)

●監督・脚本:井上梅次  
●共演:山本富士子、勝新太郎、大木実、中村玉緒、小林勝彦、浦路洋子、三島雅夫、島田竜三



豪華な顔ぶれが、6千坪のオープンセットの盛り場を舞台に恋模様と闘いを繰り広げる、オールスター時代劇。雷蔵が劇中劇で『弁天小僧』を演じる。

11  
(金)

### 大殺陣 雄呂血 (1966)

●監督:田中徳三  
●脚本:星川清司、中村努  
●共演:八千草薫、藤村志保、中谷一郎、五味竜太郎、内藤武敏、藤岡琢也、内田朝雄



阪東妻三郎の『雄呂血』を再映画化。誤解され裏切られ認められ、実直な師範代(雷蔵)の怒りが遂に爆発する。10分以上も続「大チャンバラ」が圧巻!

12  
(土)

### おんなけいず 婦系図 (1962)

●監督:三隅研次  
●原作:泉鏡花 ●脚本:依田義賢  
●共演:万里昌代、船越英二、三条魔子、木暮実千代、水戸光子、千田是也、藤原礼子



泉鏡花原作の傑作2本立て。今作の雷蔵は恋と義理の狭間で苦悩する明治のインテリ青年を演じる。湯島天神のラストシーンは屈指の名場面とされる。

13  
(日)

### ある殺し屋 (1967)

●監督:森一生 ●原作:藤原審爾  
●脚本:増村保造、石松愛弘  
●共演:野川由美子、成田三樹夫、渚まゆみ、千波丈太郎、小池朝雄、小林幸子、松下達夫



料理屋の主はプロの殺し屋だった……。森一生と宮川一夫の監督・撮影コンビによる透徹した画調に、雷蔵のニヒルな魅力がピタリとはまる代表作の1本。

14  
(月)

### 陽気な殿様 (1962)

●監督:森一生  
●原作:五味康祐 ●脚本:笠原良三  
●共演:坪内ミキ子、高田美和、宇津井健、小川勝彦、天知茂、藤原礼子、真城千都世



野心作『忍びの者』のわずか2週間後に封切られた明朗快活な時代劇で、コミカルな雷蔵が堪能できる。庶民派若様が住く、剣難女難トラブル続きの珍道中。

15  
(火)

### 眠狂四郎勝負 (1964)

●監督:三隅研次  
●原作:柴田錬三郎 ●脚本:星川清司  
●共演:藤村志保、高田美和、久保菜穂子、成田純一郎、丹羽又三郎、浜田雄史



勘定奉行の抹殺を狙う主膳に立ち向かう狂四郎(雷蔵)。キャラクター造りが不安定だった前作から一新、その後の狂四郎像を確立したシリーズ第2作。

16  
(水)

### 中山七里 (1962)

●監督:池田一夫 ●原作:長谷川伸  
●脚本:宇野正男、松村正温 ●共演:中村玉緒、大瀬康一、柳永二郎、荒木忍、滝花久子



恋女房のおしまを失い旅狼となった政吉(雷蔵)は、おしまと瓜二つの女性を助けるが……。股旅物の王道を行く原作を得た雷蔵が、若々しい魅力を見せる。

17  
(木)

### 濡れ髪剣法 (1958)

●監督:加戸敏  
●脚本:松村正温 ●共演:八千草薫、中村玉緒、大和七海路、阿井美千子、島田竜三



試合に負けて己のうぬぼれに気づかされた若殿源之助(雷蔵)は、実力を確かめるため身分を隠し江戸へ向かう。とぼけた雷蔵が魅力の明朗快活時代劇。

18  
(金)

### 眠狂四郎炎情剣 (1965)

●監督:三隅研次 ●原作:柴田錬三郎 ●脚本:星川清司 ●共演:中村玉緒、姿三子子、中原早苗、西村晃、島田竜三、小椋純子、安部徹



「犯すもよし、斬るもよし!」冒頭から冴え渡る無想正宗と三隅美学! 狂四郎(雷蔵)に惹かれる悪女役の中村玉緒が好演。シリーズ屈指の人気作。

### 赤い手裏剣 (1965)

●監督:田中徳三  
●原作:大藪春彦 ●脚本:高岩肇、野上竜雄  
●共演:小林千登勢、春川ますみ、南原宏治、須賀不二男、吉田義夫、山形勲、水原浩一



雷蔵が馬を駆り、拳銃の代わりに手裏剣を撃つ西部劇風のハードボイルド時代劇。3組のヤクザが争う宿場町がひとりの浪人の出現によって修羅場となる。

### 歌行燈 (1960)

●監督:脚本:衣笠貞之助  
●原作:泉鏡花 ●脚本:相良肇  
●共演:山本富士子、倉田マユミ、角梨枝子、柳永二郎、信欣三、小沢栄太郎、賀原夏子



若き能楽の名手喜太八(雷蔵)は謡曲指南の娘(山本富士子)と因縁の糸で結ばれる。泉鏡花の幻想的な世界を衣笠貞之助が見事に映像化した不朽の名篇。

### ある殺し屋の鍵 (1967)

●監督:森一生  
●原作:藤原審爾 ●脚本:小滝光郎  
●共演:西村晃、佐藤友美、中谷一郎、金内吉男、伊達三郎、伊藤光一、内田朝雄



前作同様雷蔵は非情な殺し屋を演じるが、今回の仮の姿は日本舞踊の師匠。プールやヨットといった現代劇ならではの設定で雷蔵の珍しい姿も楽しめる。

### 桃太郎侍 (1957)

●監督:三隅研次  
●原作:山手樹一郎 ●脚本:八尋不二  
●共演:浦路洋子、河津清三郎、木暮実千代、堺駿二、杉山昌三九



1952年の衣笠貞之助監督作『修羅城秘聞』を、弟子に当たる三隅研次が再映画化。快活な浪人「桃太郎」と若殿様の2役を演じる雷蔵の、まさに独壇場だ。

### 眠狂四郎月夜斬り (1964)

●監督:安田公義  
●原作:柴田錬三郎 ●脚本:星川清司  
●共演:浜田ゆう子、東京子、丸井太郎、成田純一郎、植村謙二郎、佐々木孝丸



粗暴な將軍の庶子・片桐高之は狂四郎(雷蔵)の名刀・無想正宗を手に入れんと企む。クールな狂四郎を体現する大映技術陣の撮影・セットが見事。

### ひとり狼 (1968)

●監督:池田一夫 ●原作:村上元三  
●脚本:直居欽哉 ●共演:小川真由美、岩崎加根子、長門勇、長谷川明男、丹阿弥谷津子、新田昌玄、小池朝雄



渡世人・人斬りの伊三蔵(雷蔵)の厳しい生き様を描く股旅物の傑作。晩年の雷蔵執念の企画作品で、ストイックかつ鬼気迫る伊三蔵を見事に演じきる。

### 濡れ髪三度笠 (1959)

●監督:田中徳三  
●脚本:八尋不二 ●共演:本郷功次郎、淡路恵子、中村玉緒、楠トシエ、中田ダイマル・ラケット、和山弘とマヒナスターズ



ドライブで坊ちゃんの若君(本郷功次郎)と義理に厚い半次郎(雷蔵)との対比が楽しいコメディ時代劇。マヒナの時代劇初出演も話題になった第一級の娯楽作。

### 眠狂四郎無頼剣 (1966)

●監督:三隅研次  
●原作:柴田錬三郎 ●脚本:伊藤大輔  
●共演:天知茂、藤村志保、工藤堅太郎、島田竜三、遠藤辰雄、上野山功一



シリーズ中、異色作ともいわれる格調高き傑作。江戸市中を火の海にせんと目論む愛染(天知茂)と狂四郎(雷蔵)の屋根の上での決斗は三隅美学の極北!

●市川雷蔵  
1931年8月29日 京都市生まれ。誕生の翌年に、関西の歌舞伎俳優・市川九団次郎の養子となる。幼少時代は医師志望だったが、大阪府立天王寺中学(現:天王寺高校)の頃には歌舞伎俳優となる決心を固めていた。46年11月、市川寿海に望まれてその養子となり、同年6月、大阪・歌舞伎座にて八世・市川雷蔵を襲名した。54年、大映入社。第1回作品は『花の白虎隊(54)』で、勝新太郎も本作品でデビューした。翌年の『新・平家物語(55)』では溝口健二に抜擢され、青年清盛を見事に演じた。また市川崑の『炎上(58)』では、雷蔵が主演することに撮影所の大反対があったが、雷蔵自ら撮影所首脳部を説得し本作に出演、キネマ旬報男優賞、ブルーリボン男優主演賞、NHK最優秀

男優賞を受賞し、確固たるスターの地位を築いた。その後も『若き日の信長(59)』『新選組始末記(63)』の凛然たる気魄や、『歌行燈(60)』の泉鏡花の名作への肉迫ぶり、『弁天小僧(58)』での女装のお色気などでファンを魅了し続ける。また、『薄桜記(59)』『斬る(62)』『剣(64)』など一連の悲劇映画で清冽、薄命の主人公を見事に演じた一方で、『濡れ髪』や『おけさ唄えば(61)』『ぼんち(60)』などの軽妙洒脱でユーモラスな作品も多い。後期には『眠狂四郎』『忍びの者』『若親分』『陸軍中野学校』など人気シリーズに多く出演。晩年の『花岡青洲の妻(67)』『ある殺し屋(67)』ではキネマ旬報男優賞、京都市民映画祭主演男優賞を受賞した。遺作となった『博徒一代・血祭り不動(69)』の後、『関の弥太ッペ』を3日ばかり撮影して倒れ、69年7月17日死去。37歳であった。